

皆の力で繋いだ櫻 青森県民駅伝



9月4日、青森市で開催された青森県民駅伝競走大会（9区間：26.1km）において、県内40市町村の選手が競い合う中、深浦町チームは、総合順位32位、町の部第18位という成績を収めました。

気温が高く厳しいコンディションの中、経験豊富なメンバーをはじめ、初めて出場する選手も、それぞれが高い意識を持って1本のタスキをつなぎました。

総合タイム 1:44:14 総合 第32位・町の部 第18位

1区(4.0km) 柴田 樹【総合26位・町の部13位】 6区(2.7km) 藤森万里奈【総合15位・町の部8位】
2区(1.1km) 田村 悠【総合24位・町の部11位】 7区(3.8km) 草澤宗一郎【総合30位・町の部16位】
3区(1.1km) 山内 夢翔【総合25位・町の部16位】 8区(2.7km) 三浦 佑月【総合18位・町の部8位】
4区(5.4km) 山内 旭人【総合36位・町の部20位】 9区(2.6km) 兼平 凜空【総合27位・町の部15位】
5区(2.7km) 鈴木直太朗【総合26位・町の部15位】

進め協力隊!!

○○ 協力隊通信 vol.5 ○○



深浦町地域おこし協力隊 浪岡 敏勇(なみおか としお)

今年の夏は深浦町にとって大変な夏になったと共に、私にとっても初年度から貴重な経験となりました。災害復旧に向け、直接何かを出来る立場ではありませんが、地域おこし協力隊として与えられた使命を実行する事が、深浦町への貢献と思い今後も活動して参ります。

今月は私の所属、総合戦略課で、今年4月より心機一転、私と同時期に配属になりました、三名の専門員さんを勝手に紹介させて頂きます。私の席の正面には若い頃、バイク屋さんで4年間整備士をしていた菊〇さん、マシン関係にはとても詳しく、尊敬していますね。菊〇さんは、とても穏やかな口調で「〇〇の練習は疲れるんだわ」とか「あそこは俺のプライベートビーチだからなあ」とか「家の愛猫はなんだかんだ捕まえては持ってくるんだよ」とか、遠くを見つめながら楽しそうに呟いています。右斜め前の席には、パソコンの待ち受け画面を「若い頃の奥さんとのツーショット」にして、毎日一度は「家のカカアガ・・」って言葉が出る、とても愛妻家の〇ノ関さん。お孫さんに会いに行くのを楽しみにし、ラーメンも大好きで、タコ取りとアブラッコ釣り、そして競馬と遊技場をごよなく愛しています。隣席右には、私が深浦に来た当初、深浦町を沢山案内して下さったK滝先生。深浦町の歴史と背景、うんちくまで詳しく教えて頂きました。物知りでダンディー、うどん教室のお手伝いから道具作りまでこなしてしまいます。器用な上、とても面倒見が良い方なので、頼りにされているのが分かります。愛車の赤いSUVもポイント高いです(笑)そんな感じで皆さん、三者三様で個性的な方々。日々新しい事を教えてもらえる幸せと、初めて聞くお話はとても新鮮です。深浦町に尽力されたこの方々と同時に、この町、この課で再スタート出来た事に本当に感謝しています。先日、50過ぎのオッサン3人と、私、生まれて初めての上野動物園へ。久々に童心に帰りました(笑)



見て触れて楽しむ アドベンチャーキャンプ 9月 23日

子どもたちが、自然とふれあいながら活動をするアドベンチャーキャンプ。今回もコロナウィルスの影響から日帰りのプログラムとし、町民体育館を会場に町内の小学生12人が参加しました。

子どもたちは竹をノコギリでカットし飯ごうを作成。作った飯ごうに持参したお米をいれ、炭火でご飯を炊きました。また、用意された薪を2人1組になり鉈と金槌で割る「薪割り」や、木と木を擦り合わせて火を起こす「火起こし」に挑戦しました。一日を通して楽しそうに活動する子どもたちの笑顔が印象的でした。



林業体験学習が開催されました!!

東北森林管理局津軽森林管理署が主催する林業体験教室が開催されました。同教室は林業体験を通じ、林業や森林についての理解を深めることを目的とし、各小学校の対象学年ごとに3回に分けて実施されました。児童たちは2班に分かれ、植物探しと丸太切りを体験。2班とも12種の全植物を見つけることができました。丸太切りでは、直径15cm程度のスギをノコギリで輪切りにするなど、普段することのない体験を通じ林業についての理解を深めていました。



丸太切りをする児童(いわさき小学校(9月7日))



講師の先生から植物の特徴などを聞く児童たち
(深浦小学校(9月9日))



沿道から植物の観察をしました(修道小学校(9月26日))